

4. トラブルとその対応事例

4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

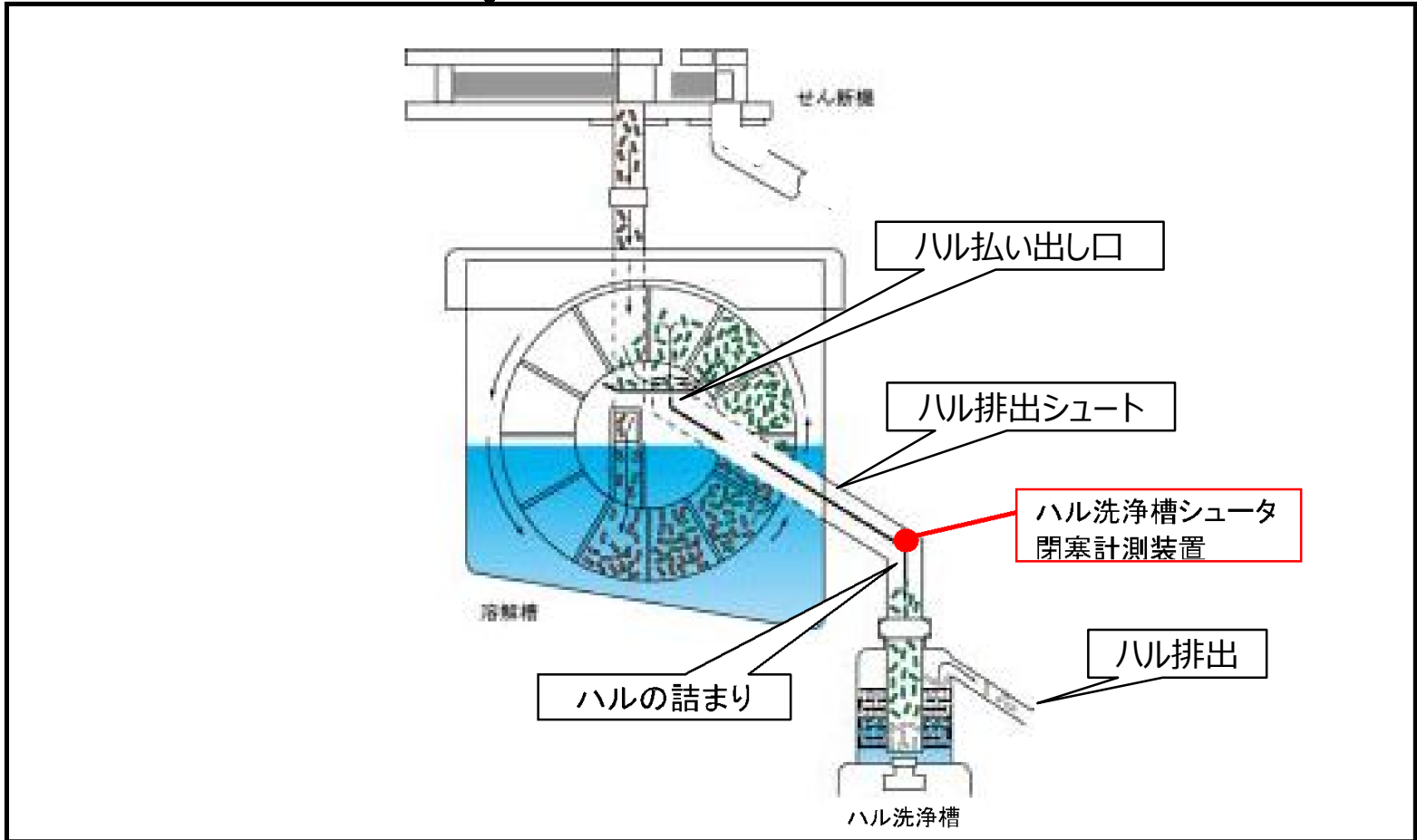
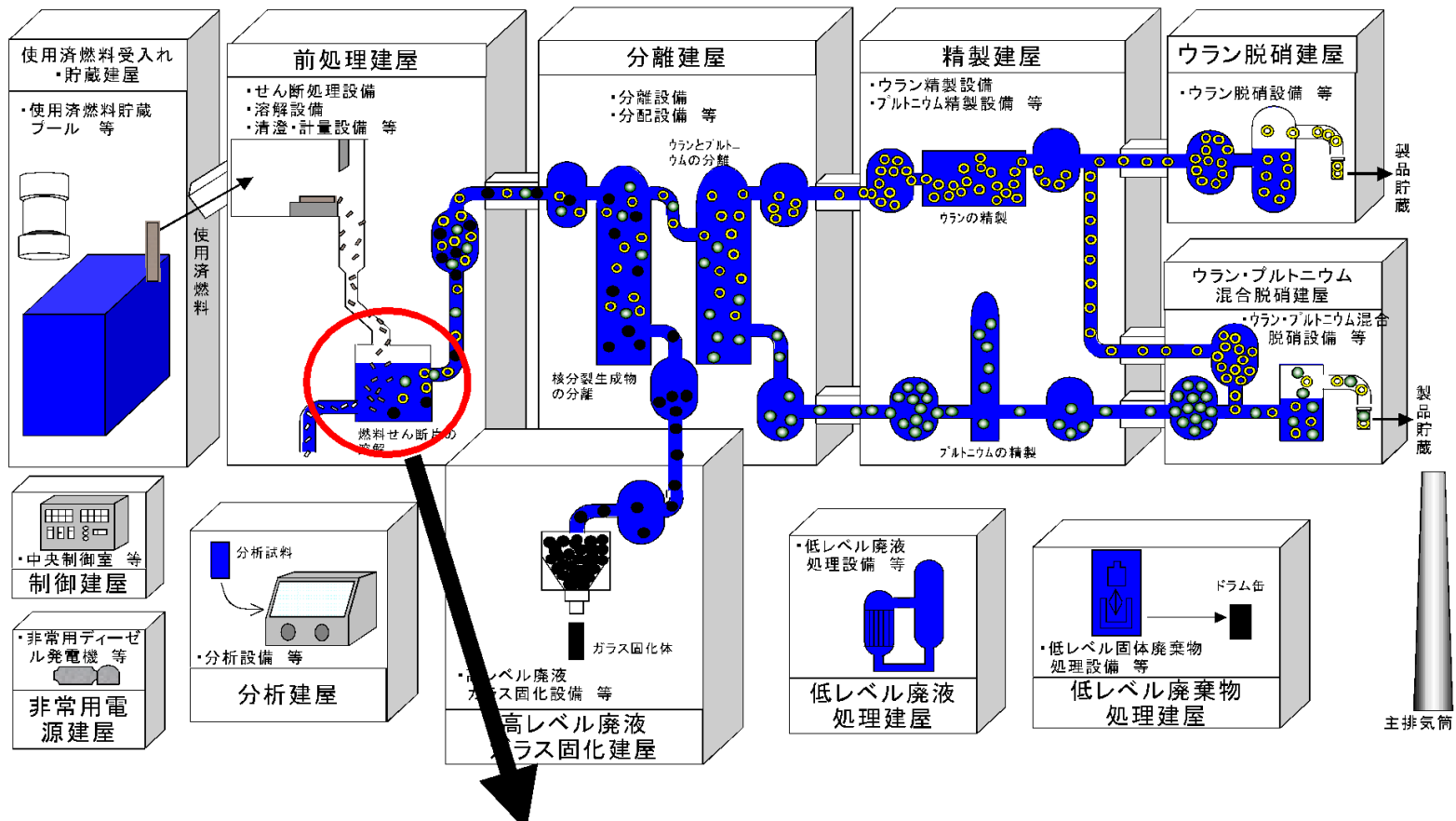
事象分類別 (a. 詰まり・堆積)

1-03. 溶解槽からのハル排出シュートにおける詰まり

<p>事象の概要</p> <p>(1)発生場所：機器</p> <p>(2)設備の概要</p> <p>(3)発生の状況</p> <p>(4)概要</p> <p>(5)原因</p>	<p>前処理建屋：ハル排出シュート</p> <p>燃料せん断片を溶解槽で溶解した際に、硝酸に溶解されずに残るハル（金属片）を、洗浄用の槽に排出するための管路。</p> <p>溶解槽の運転中</p> <p>溶解槽ハル払い出し口からハル洗浄槽に到るハル排出シュート内のハル（金属片）の詰まり。</p> <p>運転を継続することで発生する詰まり（予め対応手順を定めている）。</p>												
<p>事象による影響</p> <p>(1)工場外への影響</p> <p>(2)安全性への影響</p> <p>(3)作業員への影響</p> <p>(4)他工程への影響</p>	<p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する前処理建屋せん断処理・溶解廃ガス処理設備および換気設備が稼働しているセル内での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 ハル排出シュートの詰まりをハル洗浄槽シュータ閉塞計測装置により確実に検知し、溶解槽ホイールの回転を停止するため、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。なお、万一、ハル（金属片）洗浄槽シュータ閉塞計測装置が故障し、閉塞した場合には、ハル洗浄槽におけるハルの排出状況の監視により詰まりを検知し運転を停止するため、安全上の問題は生じない。</p> <p>作業員への影響は生じない。 ハル排出シュートの復旧作業は、セル外からの遠隔作業であり、作業員への影響は生じない。</p> <p>上流、下流の工程の運転に影響が生じる。 溶解槽の停止に伴い、上流の前処理建屋内のせん断機、溶解槽以降の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋下流にある一時的な貯留槽（計量後中間貯槽）の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>												
<p>対応の概要</p>	<p>1.ハル洗浄槽シュータ閉塞計測装置による検知、ハル洗浄槽からのハルの排出状況により、ハル排出シュートにハルが詰まっていることを確認する。</p> <p>2.詰まり状態が緩和しない場合は、遠隔操作機器（セル内クレーンなど）を利用して詰まりを除去する。</p> <p>3.ハル排出シュート内のハル堆積物が除去されたことをハル洗浄槽シュータ閉塞計測装置、ハル洗浄槽の動作状況などで確認して、定常値の範囲内に復旧したことを確認する。異常がない場合は、定められた操作手順に従って、定常運転へ復帰させる。</p>												
<p>公表区分</p>	<p>毎月集約して月1回公表（ホームページへ掲載）</p>												
<p>連絡区分*</p>	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> <tr> <td>A情報</td> <td>B情報</td> <td>C情報</td> <td>ごく軽度な機器故障</td> <td style="background-color:#e0ffe0;">清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td>不適合等</td> </tr> </table>	トラブル情報			運転情報			A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報										
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等								

*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法
 清掃や調整により復旧

